

ロールモデル講演会 実施報告書

【演題】女性研究者・医療職として等身大で生きる ～ワークライフバランス～

【講師】錦織 淳美 氏（岡山大学病院薬剤部・薬剤師、Pharm. D.）

【日時】令和元年 11 月 19 日（火） 13：00～14：30

【場所】岐阜薬科大学本部 第二講義室

【参加者数】97 名（うち女性研究者 3 名）

岐阜薬科大学 94 名、岐阜大学 1 名、岐阜女子大学 1 名、アピ^o（株）1 名

講師は岐阜薬科大学卒業生であり、卒業後にアメリカのフロリダ大学薬学部にて臨床薬剤師の学位である Doctor of Pharmacy (Pharm.D.) を取得した経歴を持つ。現在は大学病院の薬剤師として、調剤や服薬指導などを行う薬剤師業務、臨床研究活動、大学の講義で教壇に立つなど、幅広く活躍されている。

まず、医療人が行う研究について、講師が行っている研究の概要紹介された。業務中に持った疑問点が研究課題になるという。また、科研費を取得し、地域医療に貢献すべく活発に研究活動を行っていることが紹介された。研究の一環として行った海外視察や、岡山大学の海外派遣プログラムにより得られた海外の状況について紹介があった。

続いて、保険薬局薬剤師向けのシミュレーション教育の開発について紹介があった。

最後に、ワーク&ライフ・バランスのとり方について、講師の実経験にもとづき話していただいた。岡山大学の取り組み、さらに今後の目標についてお話しいただいた。家庭（プライベート）と仕事のバランスをとり、そのために家族や友人の協力を得たり、仕事の選択（在宅でできる業務）を行ってきたりした。気力、体力、公私ともに時間を確保し自分の中で優先順位をつけてバランスをとり、志を維持していくことの重要性をお話しいただいた。学生や研究者にとって励みになるものであったと思われる。岡山大学ではロールモデルの紹介やメンター制度拡充などで働きやすい環境づくりに取り組んでいる。また医療現場でも WEB カンファレンスの浸透などでキャリアアップ・スキルアップする機会が多くある。

まとめとして、研究者として続けていくために重要なこととして、研究マインド（疑問点や問題点の抽出、気力の維持）、チームの協力、情報収集・推進力と時流を感じるアンテナを常に立てていること、を挙げられた。また、自身のキャリアに特性を見つけて伸ばしていく努力を惜しまない重要性も述べられた。周囲の人々の協力や理解を得る努力も重要である。

病院薬剤師としての業務、臨床研究者としての取り組み、大学教員としての業務など、様々な働きや取り組みについて紹介してもらい、大学病院勤務の薬剤師の姿を具体的に知ることができた。また、結婚、出産などライフイベントの話だけではなく、仕事に取り組む姿勢について多く話していただき、学生にとっては今後の人生設計において大いに参考になる有意義な講演会であった。

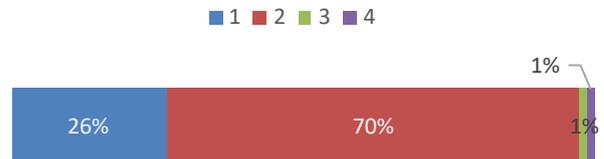


ロールモデル講演会に関するアンケート

回答数：80名（82%）

2. 本日のロールモデル講演会についてお答え下さい。

項目	回答数(人)
1. 非常に有意義だった	21
2. 有意義だった	56
3. あまり有意義ではなかった	1
4. 有意義ではなかった	1



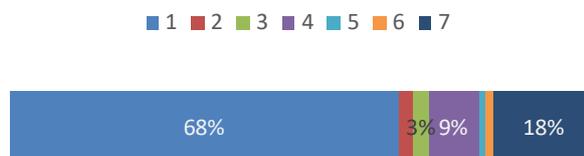
3. 2. でそのように答えた理由を教えてください。（自由記述）

- ・ 諸外国の薬剤師の状況が具体的に理解できた。
- ・ 女性が海外・臨床で活躍できることのロールモデルであった。
- ・ 病院薬剤師さんの現実的な研究、業務についてよくわかり、女性の専門職（薬剤師）がどのように生き生きと働いておられるかを感じることができた。学生さんへもロールモデルとしてよい刺激になったと思う。
- ・ 海外の医療状況について聞いたので、日本と全然違って興味深くて良かった。
- ・ 海外での薬剤師さんの働き方や医療の制度が知れて良かった。結婚後の働き方について考えられた。
- ・ それなりにためになったから。
- ・ 海外の臨床現場の様子が知れた。
- ・ 様々な取り組みを知ることができたため。
- ・ 家庭を持ちながら仕事をしたいと思っていただけ参考になりました。
- ・ 病院勤務志望のため
- ・ ワーク&ライフバランスの話が将来の参考になると感じたため。
- ・ 現場で活躍している人だったから。
- ・ 海外ではどうなのかを知ることができた。
- ・ 女性のワークライフバランスについて聞くことができたのは興味深かった。
- ・ 海外での情報など興味深かった。
- ・ 臨床研究に特化した女性のお話が聞いたことが新鮮だったため。
- ・ 海外の事情を知れた。
- ・ 臨床研究について詳しくきけたのがよかった。
- ・ これからの人生で何を大切に将来を決めるか改めて考えさせる機会になった。
- ・ 業務内容から職場環境の実際まで有意義な話を聞くことができた。
- ・ 女性薬剤師のワーク・ライフバランスについて知りたかったから。
- ・ 女性の働き方を知ることができたから
- ・ 現在進行している取り組みを知れた。
- ・ 育休明けの女性の現場復帰について詳しくきけた。
- ・ 様々な取り組みをされていて勉強になりました。

- ・ 臨床研究における着眼点を学ぶことができた。
- ・ 今の薬剤師の連携体制の状況を知ることができた。
- ・ 病院での研究内容や海外での話はなかなか聞けないから。
- ・ 錦織先生のモチベーションの高さや向上心に驚かされた。
- ・ 女性のライフワークバランスについて、薬剤師としてのキャリアを聞いてよかった。
- ・ 病院薬剤師は結婚のタイミングでやめてしまう人が多いイメージがあったが、産休・育休をとってキャリアアップをつづけられている人の話がきけて有意義だった。
- ・ 今後の働き方などについて参考になった。
- ・ 今までいろいろな講演を聞いてきたが、今までにない新しい角度からの講演を聞いたため。
- ・ 様々な取組について話を多く聞いた。
- ・ 海外の臨床現場の状況を知ることができたから。
- ・ 日本だけでなく、海外の事情も知ることができたから。
- ・ ワーク・ライフバランスの話などが同じ女性として興味深かったからです。
- ・ 薬剤師としてはたらいていく上で、実際の状況や研究において大切なことを知ることができた。
- ・ 海外でどのような状況で臨床薬剤師が活動しているかとか、女性ならではの姿勢（目線）で出産・育児と両立する術など聞くことができたから。
- ・ 実際の現場で働いている方から今の病院や企業で働くために必要なことをきくことができたため。
- ・ 今、何をすべきなのかを学ぶことができたため。
- ・ 女性研究者として必要な考え方が分かったから。
- ・ 臨床研究は未経験なので、イメージしづらい部分もあったが、説明をよくして下さったので分かりやすかった。
- ・ 病院薬剤師のワーク・ライフバランスについて知ることができた。
- ・ 研究や海外の状況等、今まで知らなかったことを詳しく知れたから。
- ・ 実際に経験しないとわからないようなことを学ぶことができたため。
- ・ 外国の薬局の現状について学ぶことができたのは初めてだったから。
- ・ 産休、育休の現状について学べたから。
- ・ 自分が将来子どもを産んだ時のキャリアの参考になった。
- ・ 地域での情報共有のための取組みや、業務のみの話に留まらず産休・育休など知らない話が色々と聞いた点がよかった。
- ・ 海外の臨床の現状なども知れて興味深かった。
- ・ 報告会のようにストーリー性がなく、話が多く、どれも中途半端な感じがした。また、講演中に歩き回るのが話を聞くのに不便に感じた。きいたことあるような感じの話が多かった。

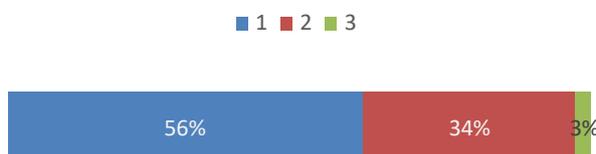
4. 今回のロールモデル講演会の開催をどのように知りましたか。(複数回答可)

項目	回答数
1. 岐阜薬科大学からの案内	54
2. ポスター等の掲示物	2
3. eメール	2
4. 関係者から聞いた	7
5. プロジェクト通信	1
6. ホームページ	1
7. その他	14



5. 今後もこのような催しに参加したいと思いますか。

項目	回答数
1. 参加したい	45
2. テーマによっては参加したい	27
3. 参加したくない	2

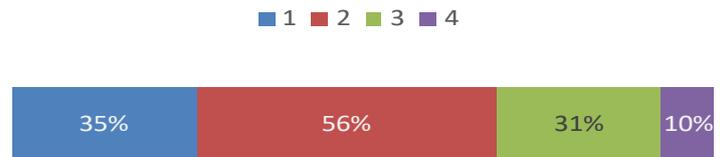


「テーマによっては参加したい」と答えられた方はどのようなテーマであれば参加したいとお考えですか。

- ・ 薬剤師と薬を服用する側の患者の声を代弁するような講演
- ・ 普段聞けない話
- ・ 海外の薬局事情
- ・ 留学について
- ・ 薬剤師として海外で働くには
- ・ 企業研究者において、生涯に渡るライフ、キャリア設計についてのテーマ。
- ・ 研究、病院薬剤師という一つのものにしっかりフォーカスが当てられていて、ストーリー性がある、意外性のある講演。
- ・ 海外研修
- ・ 実臨床における業務・研究について
- ・ 多職種連携の現状と展望
- ・ 子育てについて大変だったことをより詳細に。
- ・ 大学病院ではなく中小病院で働かれてる方の話を聞きたい。学校が呼ぶ講師の方は大病院や大企業勤務の方ばかりな気がします。もっとリアルな話がききたい。
- ・ 研究・開発について

6. 今後、どのような人の話を聞きたいですか。(複数回答可)

項目	回答数
1. 大学関係者	28
2. 企業関係者	45
3. 行政関係者	25
4. その他	8



その他

- ・ 患者側の声
- ・ 臨床現場で働いているが研究を主に行っている方
- ・ 企業の研究者
- ・ 薬局
- ・ 病院
- ・ 病院薬剤師
- ・ 麻薬取締官

7. 具体的に話を聞きたい人がいれば、名前を書いてください。

- ・ 薬局で研究を行っている人

8. その他、感想やご意見、今後行ってほしい企画など、ご自由にお書きください。

- ・ 化粧品関係の企業ではたらく人の講演に参加してみたいです。
- ・ 起業や薬局開設について知りたいです。
- ・ 具体的にどういうことをしているのか、実際学校で学んだことがどう生きるのか、何を知っておけばよいのか、実はこれはあまり役に立たない知識など、実際の薬剤師の体験をききたい。
- ・ 薬学部を卒業して製薬企業以外の企業へ就職した人の話をききたい